

平成21年度弁理士試験論文式筆記試験問題

[著作権法]

1. 彫刻家甲の創作した彫像 α に関して、以下の問いに答えなさい。解答に必要な場合には、適宜、事実関係を補って解答しなさい。

(1) 美術館乙は、彫像 α を甲から買い取り、甲の許諾を得て、美術館乙の建物の中に展示している。乙は、美術館乙の展示品のカタログ β を作成し、美術館乙の売店で販売しているが、カタログ β には、彫像 α の写真も掲載されている。カタログ β はA4版の大きさであり、カラー図版には上質の特漉コート紙が使用されている。彫像 α の写真は、約2分の1ページのサイズで、掲載ページの上半分に割り付けられ、ページの下半分には、彫像 α の解説が掲載されている。

乙の行為が、著作権法上の権利侵害を構成するかどうかについて論じなさい。

(2) 美術館乙は、彫像 α を甲から買い取り、甲の許諾を得て、美術館乙の庭に展示している。写真家丙は、美術館乙の庭で彫像 α を撮影し、絵葉書 γ として販売している。

丙の行為が、著作権法上の権利侵害を構成するかどうかについて論じなさい。

(3) 美術館乙は、彫像 α を甲から買い取り、甲の許諾を得て、美術館乙の庭に展示している。丁は、美術館乙の庭で彫像 α を撮影し、インターネット上の自らのブログ δ に、その写真を掲載している。ブログ δ は、丁の日々の生活を紹介する身近雑記で、ブログ δ に掲載された彫像 α の写真は、丁が美術館乙を訪問した日の出来事を示す記事の横に配されており、彫像 α の著者として甲の氏名が表示されている。

丁の行為が、著作権法上の権利侵害を構成するかどうかについて論じなさい。

【100点】